



自主貢献

杉並区立和田中学校
学校だより 10月号
令和8年10月6日
校長 五十嵐 潔美



[学校ホームページ](#)

学芸発表会に向けて

校長 五十嵐 潔美

秋の深まりを感じる季節となりました。少しずつ涼しくなり、落ち着いて学習や活動に取り組めるようになってきました。10月の和田中学校は、学芸発表会に向けた取組が学校生活の大きな柱になります。

合唱は、一人だけでつくることはできません。自分の声をしっかり出すことも大切ですが、まわりの声をよく聴き、心を合わせることがもっと大切です。練習を重ねる中では、思うように声が出なかったり、気持ちがそろわなかったりすることもあるでしょう。けれども、その一つひとつを乗り越えていく時間こそが、学級を成長させてくれます。

特にみなさんに伝えたいのは、うまくいかない時こそ、あたたかい言葉を大切にしてほしいということです。誰かを責める言葉よりも、もう一度やってみようという言葉の方が、学級を前進させることができます。自分の役割に一生懸命取り組む人、仲間を励ます人、見えないところで支える人、その一人ひとりが合唱をつくる大切な存在となります。

3年生のみなさんには、和田中学校の代表として、合唱を通じて成長した集団の成果を見せてもらいたいです。修学旅行で築き上げた3年生としての絆の深さ、そして学年目標「無双」を体現してください。2年生のみなさんは、先輩の姿から学びながら、集団としての絆をより深めていきましょう。1年生のみなさんは、中学校で初めての合唱コンクールを思い切り楽しみ、仲間と声を合わせる喜びを感じましょう。

10月23日の本番は、順位や結果だけに目を向ける日ではありません。これまでの練習の積み重ねと、学級で過ごしてきた時間の意味を確かめる日です。本番のステージでは、上手に歌うこと以上に、心を込めて歌うことを大切にしてください。みなさんの歌声には、その学級にしか出せない魅力がいっぱいあります。

歌い終わった時に、がんばってよかった、この仲間でもよかったと思えることを願っています。10月が、和田中学校のみなさん一人ひとりにとって、仲間の大切さと自分の成長を実感できる時間になることを願っています。

学芸発表会は、「学習発表」（中学校小笠原自然体験交流事業、海外留学事業発表）、ダンス部、吹奏楽部の発表もあります。皆さんの素晴らしい発表の場になることを大いに期待しています。皆さん一人ひとりが輝く本番を楽しみにしています。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。学芸発表会に向けて努力を重ねる子どもたちは、仲間と支え合うことの大切さを学んでいます。当日は、温かい拍手で生徒たちの頑張りを見守っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



データから見える 和田中生の「学び」と「成長」

令和 8 年度 第3学年 全国学力・学習状況調査の結果より

4月に実施した「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果及び分析をお知らせします。本調査の結果を、生徒一人ひとりの学びをより充実させるための資料として捉え、今後の授業改善や教育活動に生かしてまいります。

【数学】

正答率 [単位：％]

	全体	A数と式	B図形	C関数	Dデータの活用	知識・技能	思考・判断・表現
和田中	70	78.1	67.9	62.3	68.9	74.1	59.1
東京都	62	71.0	56.9	59.2	57.7	67.4	45.8
全 国	57	67.8	48.7	54.8	53.5	63.0	39.1

本校の平均正答率は70%で、東京都平均を8ポイント、全国平均を13ポイント上回り、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の全ての領域で東京都・全国の平均を上回っています。

生徒質問紙調査でも、「数学の授業の内容はよく分かる」と肯定的に回答した生徒は94.4%、「問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考えた」は83.3%でした。

一方、「数学で学習したことを普段の生活の中で活用できていた」とする肯定的回答は50.0%、「どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていた」は55.5%でした。

今後も基礎的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、数学で学習したことを日常生活や実社会の課題と関連付けたり、自分の考え方や判断の根拠を説明したりする活動を大切に、「学んだ数学を活用する力」をさらに高めてまいります。

【国語】

正答率 [単位：％]

	全体	言葉の特徴 や使い方	情報の 扱い方	話す・ 聞く	書く	読む	知識・技能	思考・判断・表現
和田中	76	76.6	71.7	77.4	78.6	72.3	75.8	76.1
東京都	68	66.2	74.6	68.1	70.5	64.2	67.6	67.6
全 国	63.9	63.0	70.4	63.9	67.4	59.7	64.2	63.7

本校の平均正答率は76%で、東京都平均を8ポイント、全国平均を12.1ポイント上回りました。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」についても、いずれも東京都・全国の平均を上回っています。特に文章を読み取り、根拠を基に自分の考えをまとめて表現する力に成果が見られます。

また、生徒質問紙調査では、「国語の授業の内容はよく分かる」と肯定的に回答した生徒が88.9%、「国語の勉強が好き」は70.3%、「国語の勉強は得意」は66.7%でした。さらに、「国語の授業で先生が自分のよいところや、前よりできるようになったところを伝えてくれた」とする肯定的回答は92.6%でした。

一方、「情報の扱い方に関する事項」は71.7%で、全国平均70.4%を上回ったものの、東京都平均74.6%を2.9ポイント下回りました。

今後は、これまで培ってきた「話す・聞く・書く・読む」力をさらに伸ばすとともに、複数の情報を比較・関連付けて整理し、それを基に自分の考えを形成し表現する学習を充実させ、情報を適切に読み取り、活用する力を育ててまいります。

【英語】

	4 技能総合 IRT スコア	4 技能総合 正答数	「聞くこと」 正答数	「読むこと・書くこと」 正答数	「話すこと」 正答数
和田中	544	5.2/9	1.5/2	3.2/5	0.5/2
東京都	529	5.1/9	1.3/2	3.0/5	0.8/2
全 国	499	4.5/9	1.2/2	2.6/5	0.7/2

本校の4技能総合の平均IRTスコアは544で、東京都529、全国499を上回りました。また、平均正答数は9問中5.2問で、東京都5.1問、全国4.5問を上回っています。

技能別に見ると、「聞くこと」は1.5/2問、「読むこと・書くこと」は3.2/5問で、いずれも東京都・全国を上回っています。一方、「話すこと」の平均正答数は0.5/2問で、東京都0.8問、全国0.7問を下回りました。

生徒質問紙調査を見ると、「英語の授業の内容はよく分かる」とする肯定的回答は75.9%、「英語で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つ」は90.8%でした。一方、「英語の勉強は得意」は37.1%、「学校の授業等以外で日常的に英語を使う機会が十分にあった」は29.7%となっています。

また、「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動」が行われていたとする肯定的回答は81.5%、「聞いたり読んだりした内容や自分の考えを英語で書く活動」は81.5%でした。

今後は、「聞く・読む・書く」力を基盤としながら、授業の中で実際に英語を使って自分の考えや気持ちを伝え合う機会をさらに充実させます。生徒が「分かる英語」から「実際に使って伝えられる英語」へと学びを発展させられるよう、4技能を関連付けた授業づくりを進めてまいります。

【まとめ】

今回の調査では、国語・数学の平均正答率、英語の4技能総合IRTスコア及び平均正答数が、東京都・全国を上回りました。国語・数学では、知識を身に付けるだけでなく、根拠を基に考え、自分の考えを表現する力にも成果が見られました。

生徒質問紙調査からは、「人の役に立つ人間になりたい」98.1%、「困っている人を進んで助けている」90.8%と、周囲の人を大切にしようとする和田中生の姿が見えてきます。また、友達と話し合い、互いの考えを大切にしながら学ぶ姿勢や、ICTを活用する力（文章作成90.7%、情報収集92.6%、プレゼンテーション作成85.2%）も育っています。

一方で、自分の考えを安心して表現することや、学んだことを実生活に結び付けて活用すること、英語で実際に伝え合うことなどは、これからさらに伸ばしていきたい力です。

これからも、生徒一人ひとりのよさを大切にしながら、「考える・伝え合う・学びを生かす」経験を積み重ね、自分の成長を実感できる授業づくり、安心して学び生活できる学校づくりを進めてまいります。

